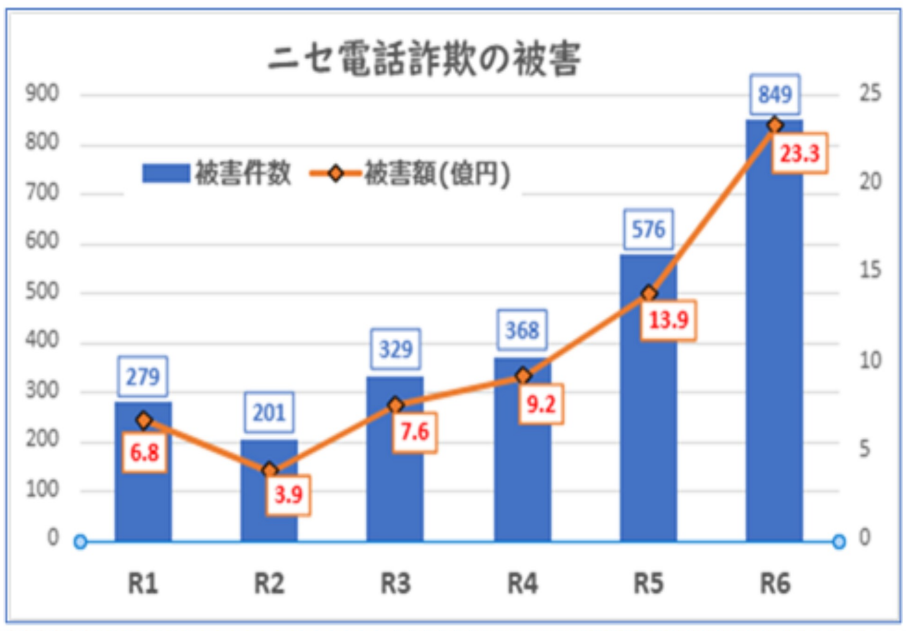
志免四だより

令和７年５月
第１８２号

発行所
志免四公民館
志免町志免1丁目1-8
TEL 092-935-0466
発行責任者
志免四公民館主事
日髙　勲
編集・構成・作成
総務部　熊本　仁

電話で「お金」はすべて詐欺です！

☎プルルルル…
もしもし、私、粕屋警察署防犯課の鈴木と申します。詐欺の犯人を捕まえたところ、あなたの名前が名簿に載っており、クレジットカードの個人情報が洩れている可能性があります。至急クレジットカードの利用を停止する必要があるので、早急にそちらに警察官を向かわせますので、カードと暗証番号を書いた紙を用意しておいてください。と言われて慌てて準備して・・・ダメですよ。これはニセ電話詐欺です。



右のグラフは福岡県内のニセ電話詐欺の被害状況の推移です。被害件数も被害額も数年間で急増していることが分かります。知ってるつもり、分かってるつもり、でもまさか自分が当事者にはならないだろう。そんな心のスキが狙われています。先日も福岡市内の30代女性が被害にあった事件が報道されていました。電話でお金の話はすべて詐欺です、と警察からも通達されています。

例えば、志免町の職員を名乗って「医療費の還付金があるから」とか、銀行員を名乗って「あなた名義の通帳が犯罪に利用されたので」とか、クレジット会社を装って「クレジットカードが使えなくなりますから」など、巧妙に心の動揺を誘って慌てさせて指示に従わせる手口です。「まさか自分が」と思っている人、危ないですよ。

詐欺被害を救済する法律もありますが、犯人が預金口座等からお金を引き出してしまうと救済は受けられません。犯人に現金を手渡したり郵送したりした場合も救済されません。

被害にあわないためには、まず、電話で「お金」はすべて詐欺！これを忘れずに。もし電話を受けたら、必ず家族や警察に相談すること。決して一人で行動しないこと。高齢者の方には、福岡県警が対策事業の一環で「防犯対策電話録音機」を無料配布しています。粕屋警察署生活安全課に電話してご相談ください。

☎(092)939-0110から粕屋警察署生活安全課に連絡

また、ニセ電話詐欺の約6割が国際電話によるものだそうです。電話番号の頭に＋1や＋44などが付くのは国際電話です。海外との通話が不要な方は、被害を防ぐために「国際電話のブロック」が有効です。これも無償で休止することができますので、同じく粕屋警察署生活安全課にご相談ください。

5月公民館行事予定

※資源物回収
【日　時】5月11日（日）　8時

※うきうきルーム（総務部）
【日　時】5月12日（月）10時～

※豊夢部屋「楽しく食べて語ろう会」
【日　時】5月17日（土）10時～

※和（なご）みカフェ
【日　時】5月27日（火）10時～13時

「チャリチャリ」続報

志免町で運用が始まって約1か月経過しました。利用している人はまだあまり多くないようですが、駐輪スポットには赤いチャリチャリが並んでいます。利用した方は「便利だよ、もっとたくさん駐輪スポットが増えるといいな。」と言っていました。

利用するには「アプリ登録」が必要です。チャリチャリは2種類。利用料金は、「ベーシック」が1分7円、「電動アシスト」が1分17円です。「電動アシスト」は白いラインが目印です。

「うきうきルーム」「なごみカフェ」

今年度も「うきうきルーム」と「なごみカフェ」開催しています。
「うきうきルーム」は原則として毎月第2月曜日です。
「なごみカフェ」は今年度から第4火曜日に開催しています。
たくさんの参加をお待ちしております。

「青洲のあかり」紹介

初めまして看護小規模多機能型居宅介護　青洲のあかりです。場所は青洲会クリニックの2つ隣、平屋の建物になります。青洲のあかりは365日開いている施設で、介護が必要な方が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう「通い」「訪問」「泊り」「看護」のサービスを組み合わせて支援する介護保険制度のサービスです。

介護保険を利用したいけどどこに相談したらいいんだろう？介護をする中でこれであっているのかな？と不安になることがありますよね。そんなときは気軽に青洲のあかりへお越しください。お悩みを解消できるようお手伝いします。

そのほか介護サービスの利用方法や介護の仕方などちょっとした困りごとなどありましたら、お気軽にご相談下さい。

今後青洲会クリニックから2か月に1回介護や医療に関する情報を発信していきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

今回は気軽に出来る認知症気づきチェックをお伝えします。

「物忘れが増えた」「生活の中でつまづきを感じることが多い」といった心配はありませんか？認知症は早期対応することで、進行を遅らせたり症状を落ち着かせることができます。ご家族や身近な人で心配だなと感じる方がいらっしゃいましたらチェックしてみてください。

認知症気づきチェック
□物の名前など単語が出てこない
□同じことを何度も言ったり、聞いたりする
□置き場所やしまい忘れが多く、いつも探し物をしている
□ささいなことで怒りっぽくなった
□自分で薬を管理することができなくなった
□着替えや身だしなみ、入浴等を面倒がってやらない
□調理や掃除など日常的な作業に時間がかかるようになった
□季節や場にそぐわない服装をするようになった
□曜日や日付を確認することが多くなった

※これは認知症を診断するものではなく、あくまで目安となります。
2つ以上当てはまる場合は、かかりつけ医、認知症の相談窓口にまずは相談してみましょう

米騒動

米騒動は１９１８年（大正7年）に日本各地で起こった民衆の暴動です。要因の一つは、第一次世界大戦による物価高騰、特に米価の急騰です。その頃ロシアでは革命が起こり社会主義政府になっていました。日本やアメリカ、イギリスは社会主義の拡大を恐れて、シベリア出兵を決定します。シベリアに派遣される軍隊のために、米の需要が増加すると予想されたため、日本の商人や地主たちは、米を買い占め、売り惜しみを行いました。先にお米を買い占めておき、高くなってから売って儲けようと考えたのです。これにより、米の流通量が減り、米価はさらに高騰しました。約1年間で米価が2倍になった地域もありました。当時の新聞で連日、米価高騰を大きく報じたこともあり、社会不安が増大しました。

そのような中、富山県で主婦たちが米穀店や米の持ち主の家におしかけ、「米をよそに売らないこと、安く売ってほしいこと」を要求したことを発端として、県内各地で町民が合流して、米の船積み中の船員を襲ったり、米の持ち主の家で暴れたりしました。富山県で始まった米騒動は、全国に広まり５００か所以上で暴動が起こりました。

政府は警察や軍隊を動員して騒動を鎮圧し、外国からの安い米を輸入するなど対策を講じました。米騒動の影響を受け、当時の寺内総理大臣は責任を取って寺内内閣は総辞職しました。

この米騒動から１００年以上経過して、今「令和の米騒動」と言われる事態になっています。歴史は繰り返す、歴史に学ぶ、と言われますが、果たして今度の「適正」な米価の収束は訪れるのでしょうか。